



みなみっ子

51号

令和8年2月9日(月)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校教育目標

〇かしこく

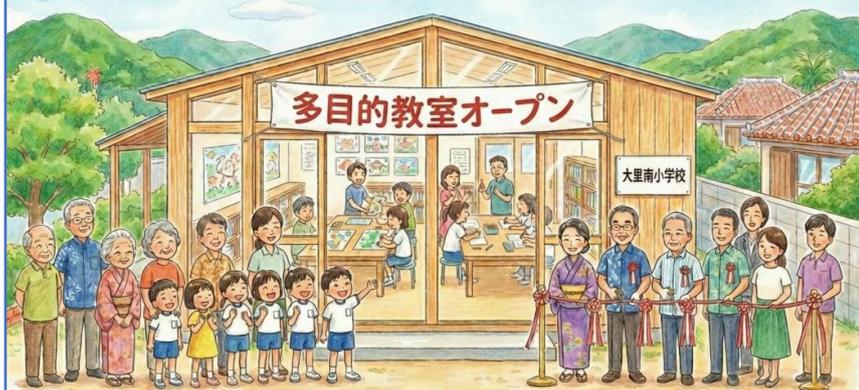
〇やさしく

〇たくましく

大里南小学校運営協議会学校 公開セミナー/教育協働アカデミー26年2月イベント

地域と学校が共に歩む教育協働の新たなかたち

～大里南の実践と多目的教室で目指す未来～



2月7日(土)に新しく増設した多目的室で、左記の取り組みを行いました。

このイベントは私(校長)が大学生の頃からお世話になっている井上講四先生(元琉球大学教授)が代表を勤める教育協働研究所と大里南小学校学校運営協議会との協働開催です。

学校は子どもたちだけの学びの場ではなく、保護者や地域の方々の学びの場である。そのことよっての教育効果は大きなものとなり、地域づくりへもつながることになります。

今回のセミナーは「学校が子どもたちだけの学びの場であることはもったいない」という考えに基づいています。MCは元琉球大学教授の井上講四先生、登壇者は本校学校運営協議会の委員の渡久地辰樹さん(一社 Leikki mokki 代表理事)と私(校長)が講話をしました。渡久地さんは子どもたちの「遊び」の視点での話で、とても素敵なお話を交えてのお話でした。私は「学校は子どもたちだけのものではもったいない、大人の学びの場、交流の場になる」という話をしました。

突然ですが、南城市も沖縄県内も公民館や図書館など社会教育施設が少ない状況にあります。いやいや公民館はたくさんあるとおっしゃる方もいるとはおもいます。しかし、その公民館は、全国で言う公民館とは違う場合が多いです。沖縄でよく聞く公民館とは「ムラヤー」のことであり、集会場や共同利用施設とも言われるものです。正式な公民館とは、社会教育法に基づき設置される社会教育施設で、地域住民の教養向上、健康増進、情操の育成、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的としています。市町村や特別区、または公益法人が設置でき、住民が自主的に学び、交流する場です。専門職員が配置され、その学びをサポートしてくれます。※ムラヤーでも社会教育施設のような活動をしているところもあります。つまり、他の都道府県と異なり、公民館のような社会教育施設が少ない沖縄県では、大人の自主的な学びなどサークル活動や同好会をする場所が少ないということになります。スポーツに関しては学校の体育館や運動場等の開放があり活動場所がある程度確保されています。しかし、その他文化的な活動場所に関しては確保が難しい状況です。

そこで、大里南小学校では、次年度からできるところ(学校の教育課程に影響がなく、教師の負担にならないところ)から具体的に始めていきたいと考えています。もちろんその活動は学校教育へ大きな貢献をすることが期待できるからでもあります。保護者の皆様、地域の皆様も一緒に「地域と共にある学校」「学校を核に地域づくり」を始めませんか?

